【課題】 1週間の時間割作り

【目的】

- ・家庭生活を学校化し、お家の人と一緒にやることや、1人でも出来ることを増やす。
- ・休校中でも生活のリズムを崩さないようにする。

【時間割作成のルール】

- ・時間割表の空欄に教科をいれる。
- ・休み時間、昼休みも学校と同じように作る。時刻は変更してもよい。
- ・内容は自分で決めたり、お家の人と一緒に考えたりする。
- ・体育と家庭科の時間は毎日、必ず入れる。
- ・教科以外にも時間割の中に「学びポケット」や「読書」の時間を設けてもよい。
- ・作成した時間割表はお家の人に必ずチェックしてもらい、アドバイスをもらう。

【やることの例】

(体育)

- ・縄跳びやジョギングや散歩、その他学校から出た課題など。
- ・散歩は携帯やカメラを手に、毎日コースを変えながら、家の周りを45分歩く。(草花の写真を撮り、新しい発見を記録する。歩数計で歩いた歩数を数えるなどするとよい)

(家庭科)

- ・一緒に昼ご飯を作ったり、掃除、洗濯をしたりする。
- ・裁縫道具でマスクなどをつくる。
- ・買い物をし、商品の金額をエクセルや家計簿などに入力する。(お家の人に聞いてみよう)
- ・乳幼児のきょうだいがいれば、育児(きょうだいと遊ぶ時間)の時間を盛り込んでもいい。

(音楽)

- ・歌を歌ったり、音楽を聞いたりする。リコーダーも練習する。

(図工)

- ・手先を使う粘土遊びやブロック玩具がオススメ。

【お家の方へ】(お家の人に読んでもらいましょう。)

家庭生活を学校化し、生活リズムを整えることが目的です。一緒に出来ることは一緒に取り組んでください。休み時間はおしゃべりしたり、おやつを食べたりしてもいいです。帰りの会の時間には一日を振り返り、できたことを褒めてあげてください。

また、勉強、遊びなど、家の中を用途によって分けるとよいです。(部屋が分けられない場合、養生テープなどで区切ると効果的で勉強するための机、テレビを見るためのソファ、遊ぶスペースなど、場所の機能化が必要)

親が何でもして、子どもはしてもらう立場という考え方を変えるいい機会になります。子供も家庭を助ける一員だということを理解してもらうことが大切です。